

令和7年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立尾山台小学校

上尾市立尾山台小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- 明るい子（元気にあいさつする子、笑顔あふれる子）
- 考える子（自ら学ぶ子 仲間と共に学ぶ子）
- たくましい子（すすんで体を動かす子 最後までやりぬく子）

学校課題研究主題

自ら学び、考え、共に高め合う児童の育成

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数、理科ともに平均正答率は、全国平均を下回っている。 ・国語の言葉の働きに関する知識・技能の問題の正答率が特に低い。 ・算数「図形」に関する知識・技能の問題の正答率が特に低い。 ・理科では、実験の条件を制御した解決方法を発想し、表現する問題の正答率が特に低い。	・学力レベルにおいては、5・6学年ともに、2教科ともほぼすべての層で伸びている。 ・学力を伸ばした児童の割合においては、5学年算数の最下位層が大きく伸びている。一方、5・6学年ともに中位層や下位層であまり伸びが見られない。	・目標値に対して、国語は4つの学年が同程度、算数は3つの学年が同程度か上回っているという結果であった。 ・算数は、2つの学年が基礎・活用共に下回っていた。まずは基礎の定着を図り、知識・技能が着実に身に付くようにする。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用して学びを深める力	③見通しを持って課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
●ICT端末の活用 ・学習支援ソフトの活用 ・AI型ドリル教材（eライブラリ等）を活用した反復学習（計算・漢字）の実施 ●学習形態の工夫 ・少人数指導（算数科）の実施 ●一部教科担任制の導入	●問題解決学習の充実 ・課題別学習（理科、社会、生活・総合的な学習の時間）の実施 ●学習形態の工夫 ・単元内自由進度学習の導入 ・知識構成型ジグソー法を用いた学習の実施	・「問い」を生む授業展開 ・体験的活動の充実 ・意欲を高める課題と定着を図る学習の充実

本校の特色ある取組

- ・「スクールワイドPBS」による、褒める教育の推進
- ・少人数指導、一部教科担任制、単元内自由進度学習の実施
- ・探究的活動の推進（経験単元による学級総合）
- ・GETグループ（縦割り班）によるGETタイム、GETフェスティバルの開催
- ・青空タイム（外遊び）、ロングのびのびタイム（自由遊び）の奨励
- ・「学びタイム」「よむよむタイム」の実施
- ・GETスピーチコンテスト（英語で話そう）の実施

家庭教育との連携

- ・学校メール配信システム、各種便り、ホームページを通じた情報発信
- ・学校公開（子供見守り活動）
- ・教育相談日の積極的な活用
- ・おや小応援団との連携

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用して学びを深める力	③見通しを持って課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑥	①ノート指導や文章の例示、視写、音読を通して、語彙や文章の書き方を身に付けさせる。 ⑥身の回りのことや、生活に学習をつなげて言葉で表現する活動を取り入れる。	
算数	②、④	②生活や学習の中で基礎的な知識（計算、数の構成、等）を繰り返し活用させる。 ④言葉や絵や図などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
生活	④、⑤	④子供たちの思いや願いを実現できるようにするために、対話をする時間を意図的に設ける。 ⑤子供の気付きの質を高めるために、実物に触れる体験を通し授業を展開する。	
音楽	①、⑤	①一定のリズムや旋律の面白さなどを意図的に意識させる活動を取り入れる。 ⑤声や身の回りの音の面白さに気付かせる音楽活動（身体表現・リズム遊び）を取り入れる。	
図画工作	②、⑤	②様々な材料に繰り返し触れられる機会の設定を行う。 ⑤多様な表現方法が取れるような環境（材料、場の設定）を整える。	
体育	①、③	①授業における30分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる）。	
英語活動	①、⑤	①歌やダンスを繰り返し取り入れて、表現や語句に多く触れさせる。 ⑤英語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。	
特別の教科 道徳	④、⑥	④自分の考えを伝える時間、相手の考えを聞く時間を設ける。 ⑥児童の良い行動を褒めることや、友達の良いところを伝え合う活動を日常的に取り入れる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用して学びを深める力	③見通しを持って課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①ICTを使って、自分の意見をまとめる機会を設定する。 ⑤読書に親しむ機会を設定する。	
社会	①、④	①発表活動の工夫（授業のまとめをノート・新聞・ICT 端末にまとめて発表）を取り入れる。 ④グループで自分の考えを発表しながら話し合う場を設定する。	
算数	①、④	①少人数指導による個別支援を行う。 ④言葉や式・図・表・グラフなどを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
理科	③、④	③実験や観察をし、比較しながら調べ、見出した問題について興味・関心をもって解決させる。 ④言葉や絵などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
音楽	①、②	①副次的な旋律に触れさせる機会の設定を行う。 ②即興的に表現する活動を計画的に取り入れる。	
図画工作	④、⑤	④話し合いながらつくる活動を取り入れる。 ⑤多様な表現方法が取れるような材料設定を行う。	
体育	①、③	①授業における30分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる）。	
外国語活動	①、⑤	①歌やチャンツ、ゲームを通して身近な英語表現に慣れ親しませる。 ⑤外国語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。	
特別の教科 道徳	④、⑥	④毎時間、自分の考えを伝える場を設定する。 ⑥道徳ノートを活用させる。	
総合的な学習の時間	④、⑤	④体験を通して、得たものを共有しながら考え、話し合わせる。 ⑤友達と協力させたり応援団の方などと交流させたりする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

（１）各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用して学びを深める力	③見通しを持って課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①漢字や語彙力の問題を学びタイムや家庭学習で取り組ませる。 ⑤読書に親しむ取組として、ビブリオバトル等を設定する。	
社会	①、④	①板書計画やワークシートを工夫し、視覚的にも歴史事象や政治の関係・構造を分かりやすく捉えられるようにさせる。 ④課題に対するまとめや授業の振り返り、単元のまとめなど、自分の言葉でまとめたことを交流させ、考えを深めさせる。	
算数	①、③	①単元のまとめに、自分の学力に応じた問題に取り組ませる。 ③数や計算、割合や倍の問題等、既習事項の問題に取り組ませる。	
理科	④、⑤	④言葉や絵などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ⑤１つの実験を少人数で実施し、全員に実験・観察の機会を与える。	
音楽	①、⑤	①呼吸法、発音法を意識した歌唱の指導を行う。 ⑤児童理解を深めた上での、個に応じた指導の工夫を行う。	
図画工作	③、⑤	③実態に即した児童主体の授業展開を行う。 ⑤多様な表現方法が取れるような材料設定を行う。	
家庭	①、⑤	①ICT 端末を活用し、縫い方等の手本を示す。 ⑤学習支援ボランティアを活用し、児童の学習意欲を高めさせる。	
体育	①、③	①授業における３０分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う(多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる)。	
外国語	②、⑤	②毎時間 Smalltalk を行い、既習の英語表現を用いてやりとりをさせる。 ⑤外国語科担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。	
特別の教科 道徳	⑤、⑥	⑤グループで話し合う場を設定し、多角的・多面的に捉えられるようにさせる。 ⑥道徳ノートを活用させる。	
総合的な学習の時間	④、⑤	④体験を通して、得たものを共有しながら考え、話し合わせる。 ⑤友達と協力させたり地域の方などと交流させたりする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○基礎基本の充実	・ 少人数指導、教科担任制、A I 型ドリル教材（e ライブラリ等）の活用
○探究的活動・協働的な学びの充実	・ 生活科、総合的な学習の時間（O K タイム）における経験単位による学習の実施
○個別最適な学びの充実	・ 単元内自由進度学習、少人数指導、I C T 端末による学習の実施
○生徒指導、教育相談、特別支援的視点からの取組	・ 「スクールワイドP B S」による、褒める教育の推進 ・ ほっとルーム（教育相談室）、保健室の活用（すべての児童の居場所づくり） ・ いじめへの迅速・組織的・誠実な対応～いじめの見逃しゼロ～
○心身の健全育成	・ 道徳ノートを活用した心豊かな児童の育成 ・ 生命の安全教育（性教育）の実施 ・ 各種保健・体育的内容の出前授業・講座の実施
○グローバル化に対応する教育	・ A L T との効果的な連携、E n g l i s h c a f é（英語で遊ぼう）、スピーチコンテスト（英語で話そう）の実施
○校内環境の整備	・ 学習意欲を高めるための教育環境整備（多目的室等の活用） ・ 安心・安全な学校づくりのための環境美化
○開かれた学校づくり	・ おや小応援団による協力体制の充実 （学校図書館整備・読み聞かせ・防犯見守り・校内環境美化・学習支援）

家庭教育との連携

○家庭学習の充実	・ 尾山台小学校ステップアッププランの活用 ・ 家庭学習（自主学習、読書の時間含む）の習慣化 1 年：20分 2 年：30分 3 年：30分 4 年：40分 5 年：50分 6 年：60分 ・ I C T 端末の活用 A I 型ドリル教材（e ライブラリ等）、スクールタクト等 ・ コバトンのびのびシートの活用
○家庭との連携	・ 学校メール配信システム「さくら連絡網」の活用 ・ 各種便り、学校ホームページを通じた情報発信 ・ P T A オープンミーティングによる話合いの場の設定